

お 長野県小谷村の小谷小学校と小笠南小学校が交流 互いのまちや学校を知ろう



1 手作りの名刺を交換して自己紹介 2 まちや学校の良い所を紹介し合う
3 レクリエーションで楽しく交流 4 みんなできくのんと一緒に記念撮影

7月14日、小谷小学校5年生23人が、臨海学習の一環として当市を訪れ、小笠南小学校5年生25人と交流しました。

児童は5つのグループに分かれ、手作りの名刺を交換して自己紹介をしました。続いて、お互いのまちや学校の良い所を紹介し合い、それぞれの郷土について理解を深めました。その後、レクリエーションの時間では、小笠南小児童が提案した「ドッジボール」と、小谷小児童が提案した「しっぽ取り」「こおりおに」が行われました。ドッジボールでは、お互いに思いっきりボールを投げ合い、真剣勝負を楽しみました。

最後に、市マスコットキャラクター「きくのん」が登場し、小谷小代表児童にお茶を贈呈。全員で記念撮影をしました。

体 多文化交流体験 で感じる夏の風物詩

7月8日、平川コミュニティ防災センターで虹の架け橋に通う児童17人が日本の伝統文化を楽しみました。青少年健全育成平川支部が開催する恒例行事で、流しソーメンとスイカ割りを体験しました。流しソーメンでは、箸を使って上手にすくい、おいしそうに食べていた児童たち。また、スイカ割りでは棒を勢いよく振り下ろし、見事にスイカが割れると、周囲から大きな歓声が沸き上がりました。割ったスイカは三角形に切り分けられ、参加者全員で仲良く食べました。



1 流しソーメンを味わう 2 勢いよく棒を振り下ろしスイカを割る

徳 「おひざもと市」初開催 川家康ゆかりの史跡

6月25日、蓮池公園で「おひざもと市」が初開催されました。来年放送予定のNHK大河ドラマ「どうする家康」に向け、家康ゆかりの「獅子ヶ鼻砦」をPR。会場には地元産の農作物やカラーサンドアート作りなどの12店舗が出店し、市内外から訪れた親子連れなどが楽しみました。また、市内を中心に活動する「劇団静岡県史」によるパフォーマンスも行われ、観客は迫力ある演技に見入っていました。次回の開催は、10月22日・29日、11月19日・26日を予定しています。



1 カラーサンドアートを楽しむ 2 劇団静岡県史によるチャンバラ